

2020 年度新任役員候補者一覧

任期は 2022 年度 2 月開催の定時社員総会終結時まで

理事

藤田 政之 (東京工業大学)

1984 年早稲田大学大学院博士前期課程修了。1985 年同後期課程中退、同年以降、金沢大学、北陸先端科学技術大学院大学を経て、2005 年東京工業大学教授。2012 年 JST CREST 研究総括、SICE 理事、SICE 制御部門長、IEEE CSS Vice President などを歴任。SICE 論文賞 (1997, 2009, 2015 年)、SICE 教育貢献賞、SICE 学術奨励賞、IEEE TCST Outstanding Paper Award などを受賞。受動性に基づく制御、ロバスト制御などの研究に従事。SICE フェロー、IEEE フェロー。工学博士。

田中 敏幸 (慶應義塾大学)

1982 年慶應義塾大学工学部計測工学科卒業。1989 年同大学院博士課程修了。同年同大理工学部助手、1993 年同大専任講師。1995、1996 年ドイツ・アーヘン工科大学客員研究員。1997 年同大物理情報工学科専任講師。2003 年助教授 (2007 年より准教授)。2009 年より教授、現在に至る。医用画像処理、GPS とその応用、信号処理、非破壊検査、逆問題などの研究に従事 (工学博士)。SICE 論文集委員会委員、SICE 計測部門センシングフォーラム運営委員会委員長、SICE 常務理事 (総務担当)、SICE50 周年記念事業実行委員会委員、SICE 計測部門長、IMEKO2021 企画・実行委員会委員などを歴任。

山澤 一彰 (産業技術総合研究所)

1998 年慶應義塾大学理工学研究科電気工学専攻後期博士課程修了。同大理工学部システムデザイン工学科助手を経て、1999 年通商産業省工業技術院計量研究所に入所。熱物性部温度標準研究室にて接触式温度計の国家計量標準の開発及び高温用白金抵抗温度計の研究に従事。2001 年独立行政法人産業技術総合研究所 (産総研) に改組され、計測標準研究部門温度湿度科高温標準研究室にて研究開発を継続。2007 年すずろ固点の国家計量標準の改良に関与した研究で SICE 論文賞 (蓮沼賞) を受賞。2011 年高温域の熱力学温度測定のための熱雑音温度計 (JNT) の開発の米国 NIST に在外研究。帰国後、産総研での JNT の開発プロジェクトの一員として国際単位系の基本単位の定義改定に関連してボルツマン定数の測定のための研究開発にも従事。2012 年高温標準研究室長。独立行政法人製品評価技術基盤機構に 2 年間出向の後、2018 年 4 月より現職。

望山 洋 (筑波大学)

1995 年早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了。1998 年北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士後期課程修了。防衛大学校助手・講師、名古屋工業大学トヨタ自動車寄附講座助教授を経て、2007 年より筑波大学大学院システム情報系准教授。現在に至る。2010-2011 年内閣府本府政策調査員 (政策統括官 (科学技術政策・イノベーション担当) 付) 併任。博士 (情報科学)。ソフトロボティクスの研究に従事。SICE 会誌編集委員、SICE 論文集委員、SICE2011、SICE2016 財務委員長、IFAC2023 Finance Chair などを歴任。

倉林 大輔 (東京工業大学)

1998 年東京大学工学系研究科精密機械工学専攻博士課程修了、博士 (工学)。同年より理化学研究所基礎科学特別研究員。2001 年東京工業大学大学院理工学研究科機械制御システム専攻講師。同助教授、准教授を経て 2014 年同教授。2016 年東京工業大学工学院教授、現在に至る。自律分散システム、生物規範システム、動作計画等の研究に従事。日本機械学会、日本ロボット学会、精密工学会、比較生理生化学会、IEEE 等の会員。SICE フェロー。自律分散システム、生物規範システム、動作計画等の研究に従事。

SICE SI 部門幹事、SICE 論文集委員会委員、SICE 国際委員会委員、SICE 常務理などを歴任。

伊藤 博 (九州工業大学)

1995 年九州工業大学情報工学部講師、1996 年同大学情報工学部助教授、2007 年職名変更により准教授、2013 年同大学大学教授、現在に至る。SICE 制御部門非線形現象の特徴化に基づく制御理論調査研究会主査、SICE JCMSI 幹事、Chair of IEEE Control System Society Technical Committee on Nonlinear Systems and Control などを歴任。

蛭原 義雄 (九州大学)

2002 年京都大学大学院工学研究科電気工学専攻博士後期課程修了。同年京都大学大学院工学研究科助手、同講師、准教授を経て 2019 年九州大学大学院システム情報科学研究院教授となり現在に至る。数値最適化手法を用いた制御系の解析、設計に関する研究に従事。京都大学博士 (工学)。システム制御情報学会、日本鉄鋼協会、IEEE などの会員。SICE 論文集 Associate Editor、SICE 制御部門「非負システムの制御理論と実システムへの応用に関する調査研究会」主査、IEEE Control Systems Society (CSS), Systems with Uncertainty Technical Committee, Chair などを歴任。

角龍 信之 (横河電機(株))

1989 年武蔵工業大学機械工学科卒業。精密機械メーカーでの設計開発業務に 12 年間従事。2001 年より横河電機(株)に勤務。機械系の製品開発設計において数多くの新製品開発プロジェクトを担当。近年はインキュベーション部部長として主に AI 応用やバイオテクノロジー分野の基礎研究開発を主導。2017 年度より SICE 事業会員サービス委員会委員として学生向け体験セミナーの運営を担当。

佐藤 和也 (佐賀大学)

1991 年九州工業大学工学部制御工学科卒業、1996 年同大学院博士後期課程修了。同年佐賀大学理工学部講師、1999 年同大助教授、2007 年同大准教授、2014 年同大教授。制御工学の教育・研究に従事 (博士 (工学))。日本機械学会、システム制御情報学会、IEEE などの会員。2013 年 SICE 著述賞受賞。計測制御エンジニア (エンジニア)。SICE 論文集委員ならびに会誌編集委員、SICE 制御部門制御理論部会委員および幹事、SICE 九州支部会計幹事などを歴任。

玉置 久 (神戸大学)

1990 年京都大学大学院工学研究科博士後期課程電気工学専攻研究指導認定退学、同年同大学工学部電気工学第二学科助手、1995 年神戸大学工学部電気電子工学科講師、1999 年同助教授、2006 年神戸大学大学院工学研究科情報知能学専攻教授、2010 年神戸大学大学院システム情報学研究所教授、現在に至る。京都大学博士 (工学)。システム制御情報学会理事・副会長・会長、SICE 関西支部庶務幹事、SICE 関西支部シンポジウム委員会委員長、SICE システム・情報部門部門長などを歴任。

山田 功 (群馬大学)

1987 年山形大学電気工学科卒業、1989 年同大学院修士課程修了。1989 年山形県企業局入局、1991 年山形大学工学部助手。1997 年大阪大学博士 (工学)。2000 年群馬大学工学部助教授、2008 年同大学院工学研究科教授、改組により 2013 年群馬大学大学院理工学府教授 (現在に至る)。2013~2016 年群馬大学理工学部副理工学部長 (国際交流担当)。その間、山形県立産業技術短期大学校、埼玉工業大学、群馬高等専門学校非常勤講師、SICE 学術講演会実行委員・プログラム委員、SICE 制御理論部会運営委

員、SICE 会誌編集委員会委員、SICE 事業委員会委員、SICE 理事（国際担当）などを歴任。SICE 2020 実行委員長。

監 事

後久 卓哉（東急建設(株)）

1992年桐蔭横浜大学制御システム工学科卒業、同年東急建設(株)入社、技術研究所メカトログループにて建築・土木建設ロボットや建設工事環境計測システム等の研究開発に従事。2012年より同社技術研究所技術企画グループに異動、2015年より研究企画グループリーダーを務める。建築物の外壁面で検査、洗浄および塗装作業を行うロボットの研究開発では、実用化まで手がける。近年では2006～2010年までNEDO委戦略的先端ロボット要素技術開発プロジェクトにおいて実務責任者としてプロジェクトを推進、SICE理事（財務担当）、SICE SI部門運営委員会幹事補などを歴任。